

提出 順番	No. 5	令和 2 年 6 月 3 日 午前・ 午後 2 時 13 分受領
----------	----------	--

令和2年6月3日

幕別町議会議長 寺林 俊幸 様

幕別町議会議員 谷口 和弥



一般質問通告書

次のとおり通告します。

質 問 事 項	質 問 の 要 旨
1. 幕別町内の高校に対する支援のあり方等について	<p>北海道教育委員会は6月2日、令和3年度～令和5年度の「公立高等学校配置計画案」を発表した。計画案で示された十勝学区に関する概要は、①平成30年度の計画で決定していた令和3年度に道立帯広柏葉高校を1学級減とすることに変更はない、②令和4年度・令和5年度に学級減はなく現状維持とする、③令和2年度の入試で40人以上の欠員が生じ学級減となっている音更、清水、鹿追、大樹、本別の5校は、令和3年度も令和2年度と同じ募集学級数を維持するのことは9月の正式決定時に公表する、というものであった。十勝学区内の中卒者数は年度ごとに多少の増減はありつつも減少方向にあり、欠員数の多い高校や1学年1学級となった高校などが、再編整備や定員調整の対象とされていくことが示されている計画案となっている。</p> <p>幕別町内には今年度で歴史を閉じる道立幕別高校と私立江陵高校、新設校として2年目の道立幕別清陵高校の3校が存在する。幕別町教育委員会が「幕別町後期中等教育を考える懇話会」を設置して答申を受け、幕別町が江陵高校の同意を取り付けて北海道教育委員会に再編統合を要請したという経過で実現したことを鑑みれば、幕別町・幕別町教育委員会が各高校の課題に対して必要とされることにしっかりと向き合う責務があると感じるところである。</p> <p>ついては以下の点を伺う。</p> <p>1. 幕別清陵高校が新設初年度から2年連続で定員割れしている現状をどのように認識しているか</p>

(注) 質問の要旨は、具体的に記載すること。

質 問 事 項	質 問 の 要 旨
<p>2. 迅速な情報発信をするうえで配慮すべき事について</p>	<p>2. 幕別清陵高校への「魅力ある高校づくり支援事業補助金」は有効な支援策となっているか</p> <p>3. 幕別高校と江陵高校の果たしてきた役割を幕別町史にしっかりと刻むべきと考えるが町の考えは</p> <p>本年1月15日に国内初の新型コロナウイルス感染症が確認されてから、「緊急事態宣言」全面解除後も全国各地で新たな感染が確認されている。これまで幕別町は新型コロナウイルスに関わる対策を、国や道の要請・宣言等に従い判断し、幕別町民に情報提供をおこなってきた。</p> <p>幕別町の新型コロナウイルス感染症対策の受け皿の経過を追うと、①2月25日、国から「新型コロナウイルス感染症対策の基本方針」示され、「新型コロナウイルス感染症対策連絡会議」を開催した。②2月27日、十勝管内から初めて感染が確認されたことを受けて「新型コロナウイルス感染症対策本部（以降、同対策本部）」を立ち上げた。③4月16日、「新型インフルエンザ特措法」に基づく「緊急事態宣言」が、すでに発令されていた7都府県に加え対象地域を北海道を含む全国に拡大したことにより、「同対策本部」を法に基づく対策本部として移行した。</p> <p>今後も国や道の要請や生活支援に関する情報をホームページやSNS、広報紙等の様々な媒体を通じて迅速に提供するように努めていくことは重要である。特に迅速さの点でホームページやSNSの果たす役割は大きい。ついては、「新型コロナウイルス関連情報」を迅速に発信する上で配慮していることは何か伺う。</p>